

日本臨床検査同学院から日本臨床検査学教育協議会へ 150 万円の寄付金を贈呈しました。

熊本地震で被災した教育協議会の学生が学業を続けられるようにするための基金になる予定です。

教育協議会

被災学生に奨学金を支給

同学院の寄付もとに基金

日本臨床検査学教育協議会（戸塚実理事長）は、熊本地震で被災した同協議会加盟校の学生が学業を継続できるよう基金を創設する。日本臨床検査同学院（水口國雄理事長）がこのほど、神戸市内で教育協議会に150万円の寄付金を贈



左から芝、戸塚、水口の各氏

呈した。教育協議会がさらに100万円を加え、総額250万円の基金とする。

教育協議会の戸塚理事長は、「熊本県出身の学生が全国で臨床検査技師を目指して勉強している。地震のために途中で断念させてはいけない」と基金創設の目的を説明。学業の継続が困難な学生に対し、奨学金を支給する。5年前の東日本大震災の際にも同様の基金が創設された。

同学院の水口理事長は、「学生の支援に少しでも協力していきたい」と述べた。